

■イベント・トーク

5/23(金)18:00～ 開会式+『ルイス・パルド』
サイレント映画の弁士付き上映 ★活動写真弁士:佐々木亜希子
5/24(土)14:00～『スーパ・ライメ』上映後トーク ★ゲスト:藤川史人監督
5/24(土)18:00～『アヤクーチョの唄と秩父の山』上映後トーク ★ゲスト:イルマ・オスノ(出演者)
5/25(日)14:00～『母なる勇気』上映後トーク ★ゲスト:東琢磨(音楽・文化批評)

「ペルー映画祭 in 広島 2025」連携上映！6/28(土)～7/4(金)(予定)
『革命する大地』『アンデス、ふたりぼっち』『マタインディオス、聖なる村』横川シネマにて、広島初公開！

■タイムテーブル

5/23(金)	14:00～ バンタム 遠いリング	18:00～ 開会式+ルイス・パルド ※弁士付き上映
5/24(土)	14:00～ スーパ・ライメ ※上映後トーク	18:00～ アヤクーチョの唄と秩父の山 ※上映後トーク
5/25(日)	10:30～ わたしはここにいる	14:00～ 母なる勇気 ※上映後トーク

5/30(金)	14:00～ 母なる勇気	18:00～ アルパカと生きる喜び
5/31(土)	14:00～ みどりの壁	18:00～ スーパ・ライメ
6/ 1(日)	10:30～ レタブロ	14:00～ わたしはここにいる

6/ 6(金)	14:00～ レタブロ	18:00～ クッキング・アップ・ドリームス
6/ 7(土)	14:00～ アインボ アマゾンの少女と森の精霊	18:00～ バンタム 遠いリング
6/ 8(日)	10:30～ ファルファン 路地裏からの栄光	14:00～ 母なる勇気

6/13(金)	14:00～ スーパ・ライメ	18:00～ みどりの壁
6/14(土)	14:00～ 再会の肖像	18:00～ レタブロ
6/15(日)	10:30～ アルパカと生きる喜び	14:00～ アヤクーチョの唄と秩父の山

6/20(金)	14:00～ 再会の肖像	18:00～ ファルファン 路地裏からの栄光
6/21(土)	14:00～ アルパカと生きる喜び	18:00～ クッキング・アップ・ドリームス
6/22(日)	10:30～ アインボ アマゾンの少女と森の精霊	14:00～ MISIÓN KIPI

■鑑賞料

大人380円、シニア(65歳以上)180円、高校生180円、小・中学生無料 ※土曜日は高校生無料

※上映作品の紹介は、作品提供先の情報を基にしています。※本特集の上映作品には、映像・音声が良いものがあります。
※当日の上映分数は、ここに掲載したものと多少異なる場合があります。※上映開始30分後の入場はおことわりします。



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312

■開館時間:火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日:月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日～1月4日

ペルー映画祭 in 広島 2025

Festival de Cine Peruano en Hiroshima 2025

会期:2025年5月23日(金)～6月22日(日) ※会期中の金・土・日に上映(全15日間)



スーパ・ライメ ©2019Cine Chancay

ペルー映画祭は2021年と2022年に東京などで開催されたことに続いて、広島で初開催となります。ペルーの歴史や郷土色豊かな芸術・音楽・食文化、スポーツ王国としての側面など、ペルーの魅力を伝える多彩な14作品として、劇映画やドキュメンタリー、アニメーションを含めて上映します。東京で今夏に予定されている第3回に先立っての広島開催です。

主催/広島市映像文化ライブラリー、ブエナウィカ
後援/在日ペルー大使館、日本ペルー協会、一般社団法人ラテンアメリカ協会、インスティトゥ・セルバンテス東京、株式会社Aizawa Corporation
KYODAI Remittance、株式会社ラティノ、日本ラテンアメリカ文化交流協会、BIZEN中南米美術館
協力/山形国際ドキュメンタリー映画祭



ファルファン 路地裏からの栄光
©2020 Lfante Films. Todos los derechos reservados.



再会の肖像
©2020 Lfante Films. Todos los derechos reservados.



アインボ アマゾンの少女と森の精霊
©2020 Rain Forest Productions International, LLC



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312

■開館時間:火～土曜日 午前10時～午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日:月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日～1月4日

■5/23(金)14:00～ ■6/7(土)18:00～

バンタム 遠いリング

PESO GALLO

2022年／ペルー／79分／スペイン語／Blu-ray／日本語字幕・英語字幕

監督:ハンス・マトス・カマック

祖母と二人でワンカヨに住む青年のエンリケは、ボクシングの全国大会に出場することになり、練習とその準備をするなかで、自分の夢を賭けた闘いがリングの中だけではないことに気づいていく。



© Myxomatosis Kino Huancayo, 2022

■5/23(金)18:00～ ※上映前開会式あり ※活弁付き上映

ルイス・パルド

LUIS PARDO

1927年／ペルー／49分／スペイン語／Blu-ray／日本語字幕

監督・脚本・主演:エンリケ・コルネホ・ピジャヌエバ

有名な盗賊ルイス・パルドを描いたペルー初の劇映画。2022年にデジタル化された。本編(33分)は、活動写真弁士・佐々木亜希子による活弁付き上映！監督インタビューを含むドキュメンタリー『El famoso bandolero』(監督:アルベルト・ドゥラント/1987年/15分)も同時上映。



© Filmoteca PUCP

■5/24(土)14:00～ ※上映後トークあり ■5/31(土)18:00～

■6/13(金)14:00～

スーパ・ライメ

Supa Layme

2020年／ペルー／103分／スペイン語、ケチュア語／ドキュメンタリー／Blu-ray／日本語字幕

監督・編集:藤川史人

アンデスの遊牧民の家族が、リヤマ、アルパカ、羊、ニワトリ、馬、ロバを連れて、ふもとの村に移住する。彼らの日常を一年半かけて記録した。2019リマ・アルテルナ国際映画祭国内部門グランプリ受賞。



© 2019Cine Chancay

■5/24(土)18:00～ ※上映後トークあり ■6/15(日)14:00～

アヤクーチョの唄と秩父の山

Songs of Ayacucho / Mountains of Chichibu

2019年／日本／60分／日本語、スペイン語、ケチュア語／ドキュメンタリー／Blu-ray／日本語字幕

監督:ホンマタカシ

アンデス地方アヤクチョ出身の音楽家イルマ・オスノは、秩父に暮らしている。ペルーと秩父という離れた土地を結ぶ一人の女性の生き様を通じて、音楽とともに強く生きるアヤクチョの人々の姿を描く。



© Takashi Homma

■5/25(日)10:30～ ■6/1(日)14:00～

わたしはここにいる

SIGO SIENDO

2013年／ペルー／123分／スペイン語、ケチュア語、シピボ語／ドキュメンタリー／Blu-ray／日本語字幕

監督:ハビエル・コルクエラ

ペルーを構成する3つの地域(高地のアヤクチョ、アマゾン川流域アマソナス、首都リマを含む海岸部)をめぐり、郷土の歌声で綴る音楽ドキュメンタリー。(作品提供:山形国際ドキュメンタリー映画祭)



■5/25(日)14:00～ ※上映後トークあり ■5/30(金)14:00～

■6/8(日)14:00～

母なる勇氣

CORAJE

1998年／ペルー／106分／スペイン語／Blu-ray／日本語字幕

監督:アルベルト・ドゥラント

ピジャ・エル・サルバドル地区で、テロ組織センデロ・ルミノソに立ち向かった平和運動家マリア・エレナ・モヤノが暗殺に倒れるまでを描いた劇映画。イベロアメリカ映画祭観客賞受賞。

(※製作当時のマスターによる上映)



© AGUA DULCE FILMS - FERNANDO COLOMO PC 1998

■5/30(金)18:00～ ■6/15(日)10:30～ ■6/21(土)14:00～

アルパカと生きる喜び

PAKUCHA

2021年／ペルー／80分／アイマラ語／ドキュメンタリー／Blu-ray／日本語字幕・スペイン語字幕

監督:ティト・カタコラ

アルパカの繁殖と多様性維持をアンデスのアイマラ族が祈願する“Pakucha(アルパカの精霊)”の儀式を撮ったドキュメンタリー。リマ映画祭ペルー文化省審査員特別賞受賞。



© 2021 American Condors.

■5/31(土)14:00～ ■6/13(金)18:00～

みどりの壁

LA MURALLA VERDE

1970年／ペルー／116分／スペイン語／Blu-ray／日本語字幕・英語字幕

監督:アルマンド・ロブレス・ゴドイ

首都リマから自然の中での生活を求めて、ジャングルへ開拓移住した若い夫婦と幼い息子は、様々な試練に出会う。1970年に日本で初めて公開されたペルー映画。2023年にデジタル化された。



© Filmoteca PUCP

■6/1(日)10:30～ ■6/6(金)14:00～ ■6/14(土)18:00～

レタブロ

RETABLO

2017年／ペルー／102分／ケチュア語、スペイン語／Blu-ray／日本語字幕・スペイン語字幕

監督:アルバロ・デルガド・アパリシオ

ペルーの伝統的な民芸品レタブロ作りに励む青年は、父親の秘密を知ってしまう。LGBT+作品としても注目された。2018年アカデミー賞国際映画賞ペルー代表作品。



© 2017 SFI / DHF / COTD

■6/6(金)18:00～ ■6/21(土)18:00～

クッキング・アップ・ドリームス

DE OLLAS Y SUEÑOS

2009年／ペルー・ブラジル／76分／スペイン語／ドキュメンタリー／Blu-ray／日本語字幕

監督:エルネスト・カベージョス

ペルー国内のさまざまな地域や、世界の主要都市に移り住んだ人々を案内役として食文化を旅する。ペルー食文化を発信するシェフや若者たちを通じて、ペルー料理の魅力とその食文化の原点を探る。



© 2009 Asociacion Guarango Cine y Video

■6/7(土)14:00～ ■6/22(日)10:30～

アインボ アマゾンの少女と森の精霊

AINBO : ESPÍRITU DEL AMAZONAS

2021年／ペルー／84分／スペイン語／Blu-ray／日本語字幕

監督:リチャード・クラウス

子供も楽しめるアニメーションとして、アマゾンに住む少女アインボの冒険を描く。伐採者から熱帯雨林を守るため旅に出た少女を、森の精霊たちが助ける。プラティノ賞最優秀アニメ映画賞受賞。



© MMXXI Rain Forest Productions Internationa, LLC

■6/8(日)10:30～ ■6/20(金)18:00～

ファルフアン 路地裏からの栄光

LA FOQUITA: EL 10 DE LA CALLE

2020年／ペルー／100分／スペイン語／Blu-ray／日本語字幕

監督:マルティン・カサビア・カサノバ

36年ぶりのワールドカップ出場に導いたペルー代表ストライカー、ジェフェルソン・ファルフアンの伝記映画。最貧困地区で生まれ、サッカーと出会って逆境を乗り越え、“ストリート育ちの10番”となる。



© 2020 Lfante Films. Todos los derechos reservados.

■6/14(土)14:00～ ■6/20(金)14:00～

再会の肖像

VOLVER A VER

2018年／ペルー／83分／スペイン語、ケチュア語／ドキュメンタリー／Blu-ray／日本語字幕

監督:ジュディス・ベレス

3人の写真家が、30年前に撮影した写真に写る人々を探してアヤクチョ高地を再訪し、センデロ・ルミノソへの抵抗の記憶を甦らせる。『わたしはここにいる』のハビエル・コルクエラがアドバイザーを務めた作品。



© NO MADE FILMS. DERECHOS RESERVADOS.

■6/22(日)14:00～

MISIÓN KIPI(原題)

2024年／ペルー／81分／スペイン語／ドキュメンタリー／Blu-ray／日本語字幕

監督:ソナリー・トゥエスタ

ペルー高地の教師が、コロナウィルス流行期にロボットのキピを作り、地域の子どもたちと学びを分かち合おうとする。今夏に東京で予定されているペルー映画祭vol.3からの広島先行上映。



© Anni Producciones